

ひろば 大代

No. 532

令和5年11月号

大田市の人口	
(R5. 11. 1 現在)	
大田市	32,300人
内大代町	297人
男	137人
女	160人

大代町民運動会を終えて

上飯谷 武田 穰



運動会当日の朝2時。どんなに寝ても必ずと言っていいほど最近になって目覚めてしまう。習慣である。天気予報では快晴のマークがついていたので安心して床についたのだが：外は雨が降っている。一瞬目を疑い三度も外を覗いてしまった。それもかなりの雨量だ。午前6時半にグラウンド状態が心配になって赴く。流石！大代小学校グラウンドは、新校舎竣工当時市内の公共施設でも、トップクラスの水はけを誇っていたことを証明すべく水溜まりも少々だった。

さて、決してグラウンド状態は良くない。お空は太陽が覗きかけている。

集合した役員からも体育館での開催もよぎった。判断は斎藤和憲会長に委ねられる。

「グラウンドでやります!!!」の力強い一言でグラウンド開催と相成ったのである。

コロナ禍で4年ぶりの開催。私が体協会長であった2年と斎藤会長の1年、計3年もの間中止であったのだから第70回の大会開催は格別のものとなった。

午前9時前には何処から出てきたの？というくらい町の皆様に参集頂いた。この様子を見てみると「ぜひ来年もやらねば！」と体協任期を今年度終える私は無責任にも思ってしまう。今後も続くであろう人口減少と高齢化問題で運動会存続を検討する機会も増えてくると思われる。来年度役員になれる方々に良い方向の決断を託したい。



ス々の町民運動会に参加して

下飯谷 飯田智美



朝まで降っていた雨が、うそのように上がり、4年ぶりの町民運動会が無事に開催されました。

大森も水上もグラウンドコンディションが悪く中止になったそうですが、その点大代のグラウンドの水はけの良さにはビックリさせられます。

今年は半日開催ということで、お昼の心配をすることなく参加することが

できました。

コロナ前までは、我が家も大人数で参加していましたが、今年は戦力外通告された二人での参加でした。足・腰・膝の痛みに悩まされ、体にムチ打つての運動会となりました。とはいえ、いざ綱引きが始まると、本気モードに入り「油、油！」の掛け声が効いたのかへろへろになりながらも、なんと男女共に優勝してしまいました。

私達白組は、参加人数自体が少なく一軒で何種目も出なければなりませんでした。組分けの方法も少し考えていただけるといいのではないかと思いましたが。来年もぜひ元気に参加できるように、健康に留意していきます。

4年ぶりの大代町民運動会

八反田 中垣一真



久しぶりに身体を動かすので入念に準備体操をしようとしたらまさかの放送機器トラブル。同級生が代表者としてラジオ体操をやっていました。グダグダになっており爆笑。

綱引きは毎回しんどいのですが、今年も接戦で地獄でした(笑)。玉送り、昔はシャチ送りでしたが今やったら足が上がらないかも？競技種目の縄ないは自分には出来ないので技術を受け継がないとなあと感じました。リレーは若さの、ぶつかり合いで激戦。妹はゴール直後に足がもつれて大転倒(笑)自分が貢献できたのは玉入れくらいでしたが、年々身体が硬くなり思うように動けなかった。これを機に身体を柔軟にしたいと思います。

色々ありましたが、地域の皆さんと毎年合流できる機会は貴重で楽しく過ごせました。来年も怪我無く、大代町民全員で地域を盛り上げて行きましよう。



まちセンに落語が来た

本郷 横 明完



先月、まちセンの計らいで二人の落語家が来られました。

一人の入浴家セントさんは落語と言うよりウクレレを持って落を入れながらジャズを歌うと言うあまり日本では観ない芸風でした。

セントさんは二十代からのアメリカ暮らしだそうで、向こうでは、ああいうのが受けるんだなあと感心しました。歌も大変上手でした。

一方、良楽さんは、三遊亭円樂のお弟子さんで、円樂と言っても顔の長い方の弟子だそうです。私も生の落語を観るのは何度かありますが、唾が飛んで来そうな近くで観たのは初めてで、なんせ声でかい。出番の前に控室でちよつと話をさせてもらったのですが、全然普通、むしろ静かでオーラなし、それが、ひとたび高座に上がると別人、さっきの良楽さんはどこ？って感じ。そのギャップがプロ！さすがです。



話しの方は、もちろん真打ですから最初から最後まで笑いつぱなしでした。そして、二人が帰られる前に良かったですよと言いに行ったら、良楽さんありがとうございます。ところで昨夜セントさんと温泉街を歩いていたら神楽をやっているのですが、だんだん引き込まれて最後は、かぶりついていました。あれは、すごいですね。良いですねえーとayingておられました。私もそれを聞いて地元として誇らしく思いました。

その上で森さんから神楽面をもらったのですから良楽さん飛び上がるほど感激されておりました。

本当にこの10月8日は、お互い良い縁でした。

10月8日に第1回大代落語会が開催されました。

町内の子供たちも来てくれて、感想を頂きました。ありがとうございました。



柿田 岡田七海

落語を見るのは初めてではなかったけど、今回の話は初めて聞きました。特に相撲の話で、相撲をとる場面お互いの心理状況が面白かったです。お互いに念仏を唱えだした所が笑ってしまいました。落語を始める前の話も面白かったです。

植松 小笠原恵真

僕にとって落語の印象は、難しく頭を使って聞くようなものだと思っていましたが実際に聞いてみるとどんどん話にひきこまれるようなおもしろさがありました。今回落語を聞いたことは貴重な経験でした。またこのような会に参加したいです。



柿田 岡田恵助

僕には落語が難しかったけど、ウクレレの歌は聞いていて楽しかったし、おもしろかったです。また聞きたいです。



下市 永井康紀

全体的に難しく、自分には落語は早かった。

本郷 日向心願

大代落語会をしてくださって、ありがとうございます。落語を私は初めて見ましたが、ものすごくおもしろかったです。楽しい落語会でした。

地区社協からの行事

地区社協会長 高村 清



本年9月17日、やっとの思いで敬老会を実施しました。今回の実施にあたっては、3年間のコロナの影響を受け、毎年開催を前提に、社協委員の皆様との打ち合わせの中で検討してきました。さすがにコロナ1年目、2年目にあつては、また大田市内他地区の各社協にあつても開催実施の報は聞いていませんでした。ところが3年目の昨年度にあつては数か所の地区社協が実施されたとのこと。一方大代では社協委員皆さんから反対の意見が多く、断念せざるを得ませんでした。

そこで、今年に入り、コロナの5類化がなされたことから、「基本的な予防策をとっての開催であれば可能では。」との意見の集約に至り、実現の運びとなりました。ただ、8月にあつても、市内でのコロナ感染者の一報が落ち着きを見せず、不安の残る中での開催で、机の配列を過去とは異なる学

校形式にしたり、看護師の方に受付で立会って頂き、手指の消毒・体温計測等を行い、また、弁当を持ち帰りにする(正午終了を予定、開始時間の繰り上げ)など。なお、マスクの着用について、敬老の皆様は自己の判断で、お世話させて頂く側は必須、と基本的なコロナ対策を採つての実現に踏み切りました。参加者は、主賓である75歳以上の対象者の最終出席が50名(半数弱、これまでも同様)来賓4名、連合自治会、婦人会、大代地区社協等のサポート30名弱、アトラクション20数名の出席を得て盛大に開催することができました。これもひとえに皆様方のご協力の賜物であつたと感謝する次第です。



開始後、米寿、喜寿の表彰、その後新入会員紹介をさせて頂き(なお、敬老会開催ができなかった3年間の米寿、喜寿、新入会員の方については、お名前の発表にて披露)順次、プログラムのとおり進行させて頂きました。

当日のアトラクションは、最初に田植囃子(小笠原流、大代町にも戦国時代から伝わる)拍手で迎えられたなか、ザイふりを先頭に、小太鼓1人、横笛2人、胴(太鼓)5人、早乙女5人の順に体育館客席入口、そして後方から正面ステージへと道行。次に胴(太鼓)はステージ上に、早乙女、小太鼓、横笛はステージ下舞台での配置がなされ、田植囃子の「植え調子」が行われました。特に道行での列の華麗さ、そして正面舞台上でのザイふりの声調による質問に答えての早乙女らの歌声による回答、音調での響き・聞き答えが良く、小太鼓、横笛に合わせての、舞台上の胴(太鼓)との一体感のもと行われ、住年の田植囃子を知り尽くしている敬老の方をはじめ、他の皆様から大きな拍手が長くなされました。ひとときわ、大拍手、

喝采がされたのは、一番の見せどころであるザイふりの声掛け(セリコミ)による胴(太鼓)での力強い早打ちの場面でした。個人的ではありませんが、私も、住年の田植囃子を見て育っており、フラッシュバックを感じ、体育館入場時から涙腺が緩くなり、大変嬉しく感じ見させて頂きました。その後、帰りの道行きがなされ演舞終了となりました。田植囃子の皆様、本当に有難うございました。

その後、町内の大江高山神楽社中による恵比寿舞、鯛釣りの様子が細かく、また神様なのに人としての魚釣り状況を細かく面白く表現され、楽しく観させて頂きました。その後、恵比寿様ご自身で、敬老の方を中心に神様の福(不老長寿の飴)を配られ、押し頂かれる皆様の素敵な表情、拝見させていたいただきました。社中の皆様、本当に有難うございました。

最後は、山下時子さんによる歌謡ショーです。現在有線でヒットしている自己の曲を始め、昔懐かしい演歌などを歌われ、また、舞台を降り、歌いな

がら皆様のもとに赴き、一人一人と握手を交わされての挨拶。皆様の笑顔を引き出されていました。また、来賓の方々を舞台に招き、歌に合わせての踊りのレッスン、来賓の方々も恥ずかしさと戸惑いながら、曲に合わせられる仕草、見させていただく側としては、来賓方の恥じらいのお気持ちも理解しながら楽しませて頂きました。最後に私ごとですが、最終段階で花束贈呈させて頂いた、その時、山下さんから「裏方へ、用事があるとのこと。」「そこで何だろうと疑問を持ちながら裏に回って要件を伺うと、「この衣装を着用してマンドリンをもって、マツケンサンバの曲に合わせて踊ってください」との突然の申し出。戸惑いの中、緞帳が上がり、見様見まねで体を動かし踊ったのですが、皆様からはどのような見えたのか、恥ずかしさでいっぱいでした。何せ、この様な舞台にあがったのは、小学校での学芸会しか経験なく困惑のみでした。無様な姿をお見せし申し訳ございませんでした。なお、アトラクションの状況説明が私見での表現

になりましたこと、お許しください。以上が、当日の敬老会の進行状況。次年度にあっても、引き続き楽しんでいただける敬老会の開催ができるよう皆様の御協力をお願いします。また今年は、いろいろな事情で出席できなかった75歳以上の主賓の方には、地区社協からの祝いの気持ちを提供させていただきます。

また、ご報告が後追いになりましたが、今年も大代地区の小学生から敬老の皆様へ、元気の基としての「メッセーじ」等を敬老会のしおりに提供して頂きました。皆様から「大変勇気づけられた」との一報を得ています。小学生及び保護者の皆様本当に有難うございました。

早々にも、次年度の敬老会の計画に着手しなければとの思いから、10月の打ち合わせ時に反省点等を話し合いました。今後とも大代地区社会福祉協議会の活動に、ご指導、ご協力よろしくお願致します。



俳句

あすなる句会



川上 岩田律枝

あちこちに彩どり添へる石露の花
夕暮れのお寺の鐘や冬に入る

井田 水谷訓子

草刈や野菊ひと群れ残されて
しみじみと一人を味わう秋深し

井田 山田松三郎

わが身から零れし百足虫冬近し
栗強飯もくもくと食ぶ漢たち

上市 横田美恵子

日だまりに猫かたまるや冬めけり
玄関に香り漂よう金木犀



大代地区社協よりお知らせ

松江市 石川 忠文 様より

香典返しにかえ御厚志を頂きました。

厚く御礼申し上げます。

2月



▼ 8日(金) しめ縄作り教室

▼ 10日(日) 福祉弁当

▼ 17日(日) クリスマス会(午前中)

▼ 22日(金) 連合自治会

▼ 7日・14日・21日(木)

えびすの会 9時半～11時半

※行事は延期・中止になる場合があります。



◆しめ縄作り教室のご案内◆

12月8日(金) 9時30分～

別途チラシをご覧ください



◆クリスマス会のご案内◆

12月17日(日) 9時30分～

どなたでも参加OKです

別途チラシをご覧ください

